

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和6 年 6 月 24 日

岐阜県知事 殿

提出者

住 所 岐阜県中津川市中津川3465-1

氏 名 王子エテックス株式会社中津工場
取締役執行役員工場長 吉川素直
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0573-66-1152

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	王子エテックス株式会社中津工場
事業場の所在地	岐阜県中津川市中津川3465-1
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	パルプ・紙・紙加工品製造業
② 事業の規模	製造品出荷額 16,598百万円（2023年度実績）
③ 従業員数	361名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	*「別紙のとおり」



（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

* 「別紙のとおり」

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】 * 「別紙のとおり」		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	（これまでに実施した取組） 歩留の向上と、最終処分量の削減 各部署、分別の徹底 有効利用先の開拓 排水工程から発生する製紙汚泥を脱水し、製紙原料として有価売却を実施。		
②計画	【目標】 * 「別紙のとおり」		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 歩留の更なる向上と有効利用・有価売却向けの分別徹底の周知 新規有価売却先を確保し安定的な運用を目指す。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 工場全体でRPF用廃プラスチック、埋立て用廃プラスチックを保管 その他廃棄物については、各部署にて分別して保管
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃プラスチック類、産業廃棄物から有効利用へ、各部署の分別に関する個々のレベルアップを図る

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） 特になし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） 特になし		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 特になし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】 *別紙の通り		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） 再生利用処理業者の選択を実施		

(第5面)

②計画	【目標】 * 「別紙のとおり」		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き最終処分（埋立）率の低減を図るため、排出廃棄物の有効利用 を推進する。		
※事務処理欄			

備考

請
じ
ま
と
中
間
量
行
収
あ
へ
と
の
入

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じた事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

○産業廃棄物の一連の処理の工程



- ①汚泥
収集運搬(委託:河村商店)→ 蒸留(委託:アヅマ商会)→ 燃料として販売
収集運搬(委託:河村商店)→ 焼却(委託:マテリアル東海)→ 焼却残さは路盤材として有効利用(委託:中部リサイクル)
収集運搬(委託:河村商店)→ 焼却(委託:タカイ商事)→ 焼却残さは管理型処分場に埋立処分(委託:クリーン開発)
収集運搬(委託:サンテクハス)→ 改質分給(委託:サンテクハス)→ セメント原料として販売
収集運搬(委託:三協)→ 改質分給(委託:サンテクハス)→ セメント原料として販売
収集運搬(委託:鈴木商事)→ 改質分給(委託:サンテクハス)→ セメント原料として販売
収集運搬(委託:大西運輸)→ 改質分給(委託:サンテクハス)→ セメント原料として販売
収集運搬(委託:ムアア-カム)→ 改質分給(委託:ムアア-カム)→ セメント原料として販売
収集運搬(委託:鈴木商事)→ 改質分給(委託:ムアア-カム)→ 路盤材として販売
- ②廃プラ
収集運搬(委託:吉良開発)→ 破碎・圧縮成型(委託:吉良開発)→ RPF用として販売
収集運搬(委託:河村商店)→ 圧縮・破碎処理(委託:東海エコシステム)→ リサイクル販売
収集運搬(委託:河村商店)→ 圧縮処理(委託:アイユー)→ 安定型処分場に埋立処分(委託:吉野開発)
収集運搬(委託:河村商店)→ 焼却(委託:マテリアル東海)→ 焼却残さは路盤材として有効利用(委託:中部リサイクル)
収集運搬(委託:油研)→ 破碎処理(委託:ハルミ)→ 助燃材として有効利用(委託:住友大阪セメント)
収集運搬(委託:河村商店)→ 改質分給(委託:サンテクハス)→ セメント原料として販売
- ③廃油
収集運搬(委託:河村商店)→ 焼却(委託:マテリアル東海)→ 焼却残さは路盤材として有効利用(委託:中部リサイクル)
- ④ばいじん
収集運搬(委託:日邦)→ 溶融(委託:中部リサイクル)→ 路盤材として有効利用(委託:大有建設)
- ⑤ガラス・陶磁器
収集運搬(委託:河村商店)→ 焼却(委託:マテリアル東海)→ 焼却残さは路盤材として有効利用(委託:中部リサイクル)
- ⑥がれき類
収集運搬(委託:河村商店)→ 破碎(委託:薩南)→ 路盤材として販売
収集運搬(委託:河村商店)→ 圧縮処理(委託:アイユー)→ 安定型処分場に埋立処分(委託:吉野開発)
- ⑦金属くず
収集運搬(委託:河村商店)→ 圧縮(委託:大脇商店)→ 中間処理後売却
- ⑧木くず
収集運搬(委託:河村商店)→ 破碎(委託:東海バイオ)→ 中間処理後売却
- ⑨紙くず
収集運搬(委託:河村商店)→ 圧縮処理(委託:アイユー)→ 古紙原料として販売
収集運搬(委託:東濃故紙センター)→ 有価物として購入(委託:東濃故紙センター)→ 古紙原料として販売
- ⑩廃酸
収集運搬(委託:アサヒプリテック)→ 中和(委託:アサヒプリテック)→ セメント原料として使用

○現状

産業廃棄物の種類	汚泥	紙くず	廃プラ	廃油	ばいじん	ガラス・陶磁器	がれき類	金属くず	木くず	廃酸	合計
排出量	922.9t	160.6t	361.1t	0.5t	0.0t	1.4t	10.9t	26.2t	41.2t	0.0t	1,524.7 t

圖書目錄

産業廃棄物の種類	汚泥	紙くず	廃プラ	廃油・ウエス	ばいじん	ガラス・陶磁器	がれき類	金属くず	木くず	廃酸	合計
排出量	900.0t	160.0t	360.0t	2.0t	1.0t	1.0t	10.0t	25.0t	40.0t	0.0t	1,499.0 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

○現状 【前年度（令和4年度）実績】

[illegible]

豐田 國志

[illegible]

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

○管理体制図

